

「十代の妊娠、学校現場から考える」

滋賀県立粟東高等学校 養護教諭 木戸協 久美子

1. はじめに

いきなりで申し訳ないのですが、演者をひきうけたことを今大変後悔しています。もともと私は、文章を書くのも人前でお話するのも大変苦手で、汗びっしょりになって声が震えしどろもどろになっている自分が想像できます。原稿依頼を受けてからずっと頭から離れないのですが、進まず日だけが過ぎ、家でも、原稿かかなあかん、かかなあかんというものだから、「上手に書こうと思うでや。ありのままを言うたらええんや。よそ行きの顔してかっこつけるなよ。今やってることを書いたらええんや。」というパートナーのことばに少し楽になり、一学校の保健室に勤める一人の養護教諭の非常に小さな視野で見た話だと思っ頂きたい。

2. 学校について

本校は、琵琶湖の南で、栗東インターチェンジすぐ横に位置し、周辺は緑豊かな山々に覆われ歴史的な文化遺産も多くあり、自然との調和のとれている町にある。創立20年余りで、普通科と美術科（1クラス）があり、生徒数909名（男子502名女子407名）23クラスの中規模校である。進路は、就職50%、進学50%で、生徒は明るくのびのびとして人なつつこい面がある。クラブ活動も自主的に頑張りめざましい活躍している生徒もいる反面、学校不適応や生徒指導上の問題をもつ生徒も多い。

3. 保健室の現状

本校では、ここ10年ほど前より保健室利用者が多くなっている。外科的な利用者は、ほぼ同じ数値を示しているが、内科的な疾患の訴えは大きく変動し、最近では生徒数が減ったにもかかわらず大幅に増えている。生徒の訴えは、腹痛、頭痛、かぜなどが多いが、複数の症状を訴える生徒も多くなっている。また、症状などを詳しく聞いていくとその背景には、家族関係、友人関係、学習、進路などの問題が浮かび上がってくる。このような心因性の訴えは、この10年増加する一方で、私達、養護教諭はカウンセリングの研修を重ね日々保健室で奮闘している毎日である。

このような日々の中で、性の悩み、異性の悩みで身体不調を訴える生徒も多い。特に妊娠を心配する女生徒との出会いは、非常に心を痛める。生徒自身は大きな課題を抱え日々苦悩する毎日を送る。こういうつらい思いをさせたくないという思いからはじめたのが次のような性教育の取り組みである。

4. 本校の性教育の取り組み

		1年	2年	指導担当	備考
'85	学校保健委員会にて、性教育の取り組みについて提案				
'86	1学期末	性心理の違い		養護教諭	厚生課での性教育の取り組みを提案
	2学期末	「彼に迫られて悩んでいます」 新聞投書を読んで			
'87	1学期末	性心理の違い		養護教諭	性に関するアンケート実施 (対象=教師、生徒)
	2学期末	「さらば悲しみの性」より			
'88	1学期末	性心理の違い	生命創造	養護教諭	
	2学期末	「彼に迫られて悩んでいます」 新聞投書を読んで	「彼に迫られて悩んでいます」 新聞投書を読んで		
'89	1学期末	受胎の神秘	思春期の男女の性差	厚生課	厚生課で性教育実施
	2学期末	自立した男女の人間関係とは	自分を見つめて		
'90	1学期末	思春期の男女の性差	「愛と性の十字路」から	厚生課	職員研修 最近の高校生と性 君和田和一先生
	2学期末	男のからだ女のからだ	性交、妊娠、中絶、避妊		
'91	1学期末	思春期の男女の性差	胎児は人間です	厚生課	
	2学期末	文化祭 男女交際についての アンケート結果より	人工妊娠中絶について		
'92	1学期末	思春期の男女の性差	AIDSについて	厚生課	職員研修 性感染症(STI) 済生会病院 産婦人科 町田Dr. エイズ教育検討委員会 会発足
	2学期末	性交、受精のメカニズムと 男女の人間関係を考える	人工妊娠中絶について		
'93	1学期末	自己を知り互いに理解 するには	性交	厚生課	職員研修 エイズ教育にむ て エイズ教育検討多 会解散 厚生課で 当 エイズ教育 3年生も実施する
	2学期末	性交、受精のメカニズムと 男女の人間関係を考える	人工妊娠中絶について		
			エイズ	エイズ	担任
'94	3学期末	エイズ	エイズ	担任	職員研修 AIDS最新情報 済生会病院 産婦人科 花田Dr.
'95	2学期末特別時間割りにて1～3年担任によるAIDS教育実施予定				職員研修 AIDSの模擬授業 より学ぶ

1 学年2時間、2年間の4時間で語れることはわずかである。語れない部分は本になるようなプリントで補った次第で、指導内容も、毎年充分に検討する時間がとれないまま実施していた次第である。もちろん教科の方でも、保健や家庭などで性に関する単元はあり多くの時間をとって指導されている。でしゃばる必要があるのかという気持ちも実際あったし、この内容は教科と重複しているのではないか、いや大切なことだから重複したっていい、自分自身にやれるだけのことをやっているのだ、と自分に言い聞かせながら実施していた感もある。生徒の反応は思いのほか真剣に聞き、実例や私自身のことを話す時は食い入るように聞いている。「先生、週何回？」と突っ込みを入れてくる生徒もいるが、生徒達はいろんな面で大人達に語りかけてほしいのだと思う。

8年間性教育を続けてきて生徒達と一緒に考えてこれたことは、私自身にとっても大変意義あるものであったと思う。また、ここまで継続できたのも課の先生方の協力援助があったればこそで、大変感謝している。

93年度で課としての取り組みが終わりになったのは、今日大きな社会問題となっている不登校生徒への取り組みが91年度よりはじまり、重点的に取り組むようになったからである。私の集団指導という場はなくなったが、保健や家庭（本年度より男女共修になりとても意義あることだと思う）などの授業で、保健室の問題を保健室だけに止めず教科の先生と連携をとって生徒に返していくことを今後考えている。

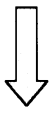
5、これから

「妊娠する生徒の数は、増えてきたか」と聞かれると、私への相談件数は、この学校に勤務して12年間では増えたようには思えないが、生徒との話しの中で友達が妊娠しているとか中絶したとか子供を産んだという話しは多くなってきている。妊娠後の結論も様々で、学校をやめて子供を産むと決めた生徒、中絶を選んだ生徒といろいろである。私は、生徒が親に話せるようにもっていくことと、結論がでるまで見守るしかない。またこんなこともある。「実は中絶したん」と後になって聞くこともある「ごめんね。気付いてあげられなくて。つらかったやろ。・・・でもこれからが大事なのよ・・・」と落ち込む彼女を励ますこともある。

私が今できることは、生徒達が困ったり悩んだりした時に相談に来れるような保健室にすることである。（が現実には、いっぱいに来室生徒を相手にバタバタ、ケンケンしている。このような状態では、二の足を踏む生徒もいるだろうと反省する毎日である。本当にもう一人養護教諭がいればと思う。）そして、生徒が安心して相談できるあたたかい養護教諭をめざしていくことである。

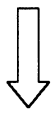
また、私自身、中学生の息子、娘をもつ親でもあり、これからいろんな問題が生じてくるであろうが、いろんな機会に人生の先輩としてパートナーと協力、分担しながら語っていけたらと思う。

最後に、十代の妊娠というテーマに絞ってお話しができなかったことをお詫びしたい。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



5、これから

「妊娠する生徒の数は、増えてきたか」と聞かれると、私への相談件数は、この学校に勤務して12年間では増えたようには思えないが、生徒との話しの中で友達が妊娠しているとか中絶したとか子供を産んだという話しは多くなつてきている。妊娠後の結論も様々で、学校をやめて子供を産むと決めた生徒、中絶を選んだ生徒といろいろである。私は、生徒が親に話せるようになっていくことと、結論がでるまで見守るしかない。またこんなこともある。「実は中絶したん」と後になつて聞くこともある「ごめんね。気付いてあげられなくて。つらかったやろ。・・・でもこれからは大事なのよ・・・」と落ち込む彼女を励ますこともある。

私が今できることは、生徒達が困ったり悩んだりした時に相談に来れるような保健室にすることである。(が現実には、いっぱいの子室生徒を相手にバタバタ、ケンケンしている。このような状態では、二の足を踏む生徒もいるだろうと皮省する毎日である。本当にもう一人養護教諭がいればと思う。)そして、生徒が安心して相談できるあたたかい養護教諭をめざしていくことである。

また、私自身、中学生の息子、娘をもつ親でもあり、これからいろんな問題が生じてくるであろうが、いろんな機会に人生の先輩としてパートナーと協力、分担しながら語っていったらと思う。

最後に、十代の妊娠というテーマに絞つてお話しができなかつたことをお詫びしたい。